



教育目標 知を磨き 徳を高め 体をつくる

中野東中学校だより

令和4年 4月15日(金) 発行 第1号

愛があふれる中野東中学校

校長 久保田 啓介

令和4年4月に本校第3代校長に着任しました 久保田 啓介(くぼた けいすけ) と申します。昨年9月にこの新校舎に移転したばかりの真新しい校舎で、生徒をとっても大切にする情熱的な教職員と、明るい挨拶が飛び交う素敵な生徒たち、あたたかに支えてくださる保護者・地域の皆様が三位一体となった中野区立中野東中学校に着任できましたことを大変嬉しく存じます。創立5年目の本校に寄せられる期待や希望を受け止め、子供たちのために全力で取り組む所存ですので、何卒ご支援くださいますようお願い申し上げます。

4月6日の始業式、7日の入学式は新校舎で迎える初の儀式となりました。依然コロナの影響で、ご来賓の皆様方にご臨席いただけませんでしたが、本校史上最多となる154名の新入生を迎え、416名で令和4年度がスタートしました。

6日の着任式で代表生徒が私を含めた新しい教職員に教えてくれた学校紹介は、生徒の主体性とそれを支える教職員との信頼関係が伝わる胸が熱くなる内容でした。学校に対する、仲間を信じる、教職員を慕う「愛」を感じました。実際、8日から全校生徒が登校し、新しい学級での取組の様子や休み時間での様子など至る所で「愛」を感じることが多くありましたが、その様子は今後も学校だより等でお伝えしてまいります。



【入学式 新入生代表の言葉】

その愛を感じる代表生徒の文をもって現在の中野東中学校の様子をお伝えいたします。

先生方、はじめまして。新しく先生方にお会いできるのを楽しみにしていました。

僕が思う中野東中学校について少し紹介します。

中野東中学校はとても明るく仲の良い学校です。助け合いやクラスでの笑いなど、楽しい雰囲気が学校全体に広がっています。他には挨拶にも力を入れており、挨拶が活発な学校です。

東中には、体育祭と合唱祭という二大行事があります。体育祭ではクラスで力を合わせ、練習から本番まで団結することができます。合唱祭はコロナ禍で2年間できていませんが、普段なら音楽を通してクラス全体が仲良くなる行事です。また、東中には「やっちゃん東中」というスローガンがありました。制限されている中でも何かをしてみよう、今の中でもできることをやろうという意味が込められています。

一昨年度は新型コロナウイルスの影響で休校になったとき、何も知らない状態から先生方が500本以上のオンライン動画を作ってください、生徒たちは休校中も充実した授業を受けることができました。さらに、体育祭では生徒中心で計画・運営をしました。例えば、コロナ禍でもできる新しい種目を考えたり、運動が得意な人も苦手な人も楽しめる種目を考えたりしました。そんな生徒や先生方の行動力の高さが東中の特色だと僕は思っています。そして、東中は帰国生もたくさん受け入れている学校で、日本語指導や国際交流教室など他の学校にないような取組も行っています。

中野東中学校に赴任していただきありがとうございます。先生方と授業や部活動など新たな学校生活を送ることができるのが楽しみです。これからよろしくお願いいたします。

令和4年4月6日

生徒代表 3年 齊藤 賢太

入学式での「歓迎の言葉」「新入生代表の言葉」も大変爽やかで、夢と希望のもてる素晴らしい言葉でした。そちらは学校ホームページに掲載させていただきますのでご覧ください。